

バッジ等の取組について



バッジ広がる BABY in ME



目立たないほのぼのとした顔ぶれ。周囲に知らず知らずのうちに一人の女性がデザインしたマーク「BABY・in・ME」が、共感する人たちの手を広がっている。北海道釧路市ではステッカーをつけたタクシーが走



デザイナーのデザイン「黒」で見守るだけでなく「切な」を村松純子さんに東京

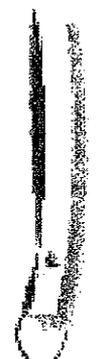
り、東海福島のミニマルデザインの間口もバッジが広がっているようになった。誕生から半年、バッジは軒を連ねた。マークは、釧路市のフリーライター村松純子さん(31)が、「具象的でも、おぼろげな大きなもので、優先席に座る白い目で見守られてまっ」という友人の声を聞いてデザインした。03年にホームステイを聞き、ステッカーやバッジの頒布

東京都葛飾区の都民共済グループで、結婚式の打ち合わせで窓口のマークを設計始めた。衣裳合わせなど、迷惑せず「妊娠中」を伝えてほしいという配慮があった。村松さんへのホームページは <http://www.baby-in-me.com>

を始めた。「広めたがったのはバッジではなく、街角で優しい気持ちを感じてくれたらいいね」という思いと村松さん。女性たちの感謝の言に知え、予約以上に多かったのは「配りだ」「ごとう入たちがあつた」を述べた。釧路市のZPO「く」の演劇みだり会「ハリアフリーの街」の役立てた(柴田千鶴事務局長)と著

(平成17年3月11日朝日新聞)

目立たないほのぼのとした顔ぶれ。周囲に知らず知らずのうちに一人の女性がデザインしたマーク「BABY・in・ME」が、共感する人たちの手を広がっている。北海道釧路市ではステッカーをつけたタクシーが走



チャイルド・ファミリー・フレンドリー・コンソーシアムの例



京都市の例

日時計

▽...体調はしんどいけれど見た目にわかりにくく、なかなか周囲に気付いてもらえない。そんな妊娠初期の「ママ」たちを応援したいと申し出て、1月に「BABY in ME」のマークを配布した。2年前、妻が「BABY in ME」のマークを配布した。2年前、妻が「BABY in ME」のマークを配布した。2年前、妻が「BABY in ME」のマークを配布した。

しんどい思いに気付いて

▽...体調はしんどいけれど見た目にわかりにくく、なかなか周囲に気付いてもらえない。そんな妊娠初期の「ママ」たちを応援したいと申し出て、1月に「BABY in ME」のマークを配布した。2年前、妻が「BABY in ME」のマークを配布した。2年前、妻が「BABY in ME」のマークを配布した。

(平成17年5月19日日本経済新聞)